

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律
第 30 条又は第 36 条に基づく認定に係る技術的審査
業務規程

一般財団法人長野県建築住宅センター

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この技術的審査業務規程（以下「規程」という。）は、一般財団法人長野県建築住宅センター（以下「センター」という。）が、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（平成27年法律第53号。以下「法」という。）第30条第1項に基づく認定（以下「性能向上計画認定」という。）又は第36条第1項に基づく認定（以下「認定表示」という。）に係る、それぞれの認定基準への適合に係る技術的審査（以下「技術的審査」という。）の実施について必要な事項を定めるものである。

(基本方針)

第2条 技術的審査は、性能向上計画認定又は認定表示に係る基準への適合性について、公正かつ適確に実施するものとする。

(技術的審査の実施機関の原則)

第3条 技術的審査の実施できる機関は次のとおりとする。

- (1) 審査対象が住宅の場合は、登録住宅性能評価機関が技術的審査を実施するものとする。
- (2) 審査対象が非住宅の場合は、登録建築物エネルギー消費性能判定機関により技術的審査を実施するものとする。
- (3) 審査対象が住宅及び非住宅を含む複合建築物（以下「複合建築物」という。）の場合は、住宅部分については登録住宅性能評価機関が、非住宅部分については登録建築物省エネルギー性能判定機関により技術的審査を実施するものとする。

(技術的審査の業務を行う時間・休日、事務所の所在地及び業務区域)

第4条 技術的審査を行う時間・休日、事務所の所在地及び業務区域は、建築物の用途に応じた業務範囲等は次による。

- (1) 審査対象が住宅の場合は、センターの住宅性能評価業務規程によるものとする。
- (2) 審査対象が非住宅の場合は、センターの建築物エネルギー消費性能適合性判定業務規程によるものとする。
- (3) 審査対象が複合建築物の場合は、住宅部分はセンターの住宅性能評価業務規程、非住宅部分は、センターの建築物エネルギー消費性能適合性判定業務規程によるものとする。

第2章 性能向上計画認定に係る技術的審査の業務の実施方法

第1節 依頼手続き

(所管行政庁に認定申請する前に行う技術的審査の依頼)

第5条 所管行政庁に認定を申請する前に技術的審査を依頼しようとする者（以下「依頼者」という。）又は技術的審査の手続きに関する一切の権限を依頼者から委任された者（以下「代理者」という。）は、センターに対し、次の各号に掲げる図書（以下第2章において「技術的審査用提出図書」という。）を正副2部提出しなければならないものとする。

- (1) 別記様式1号の建築物エネルギー消費性能向上計画に係る技術的審査依頼書（以下第2章において「依頼書」という。）

- (2) 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律施行規則（平成 28 年国土交通省第 5 号。以下「規則」という。）第 1 条第 1 項で定める認定申請書（別記様式第三十三）
- (3) 技術的審査の対象となる建築物の設計図書等（規則第 1 条第 1 項の表に定める図書その他センターが技術的審査のために必要と認める図書（以下第 2 章において「技術的審査添付図書等」という。））

（適合証が交付された後に行う計画の変更に係る技術的審査の依頼）

第 6 条 依頼者は、第 11 条に規定する適合証の交付を受けた建築物エネルギー消費性能向上計画を変更する場合において、センターに変更に係る技術的審査の依頼をすることができる。この場合、依頼者はセンターに対し、次の各号（センターにおいて直前の技術的審査を行っている場合にあつては、(3)を除く。）に掲げる図書を、正副 2 部提出しなければならないものとする。

- (1) 別記様式 3 号の建築物エネルギー消費性能向上計画の変更に係る技術的審査依頼書
- (2) 技術的審査添付図書等のうち変更に係るもの
- (3) 直前の技術的審査の結果が記載された適合証又はその写し

（技術的審査の依頼の受理及び契約）

第 7 条 センターは、第 5 条又は第 6 条の技術的審査の依頼があつたときは、次の事項を確認し、当該技術的審査用提出図書を受理する。

- (1) 技術的審査を依頼された建築物の所在地が、第 4 条の業務を行う区域内であること及び建築物の用途が、審査対象の建築物用途であること。
 - (2) 技術的審査用提出図書に形式上の不備がないこと。
 - (3) 技術的審査用提出図書に記載すべき事項の記載が不十分でないこと。
 - (4) 技術的審査用提出図書に記載された内容に明らかな虚偽がないこと。
- 2 センターは、前項の確認により、技術的審査用提出図書が同項各号のいずれかに該当しないと認める場合においては、その補正を求めるものとする。
- 3 依頼者が前項の求めに応じない場合又は十分な補正を行わない場合においては、センターは、受理できない理由を明らかにするとともに、依頼者に技術的審査用提出図書を返却する。
- 4 センターは、第 1 項により技術的審査の依頼を受理した場合においては、依頼者に引受承諾書を交付する。
- この場合、依頼者とセンターは別に定める建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 30 条又は第 36 条に基づく認定に係る技術的審査業務約款（以下「技術的審査業務約款」という。）に基づき契約を締結したものとする。
- 5 前項の技術的審査業務約款又は引受承諾書には、少なくとも次の各号に掲げる事項について明記するものとする。
- (1) 依頼者は、提出された書類のみでは技術的審査を行うことが困難であるとセンターが認めて請求した場合は、技術的審査を行うのに必要な追加書類を双方合意の上定めた期日までにセンターに提出しなければならない旨の規定
 - (2) 依頼者は、センターが性能向上計画認定に係る認定基準への適合に関する是正事項を指摘した場合は、双方合意の上定めた期日までに当該部分の技術的審査用提出図書の修正その他必要な措置をとらなければならない旨の規定

- (3) 別記様式 2 号の適合証の交付前までに、依頼者の都合により依頼内容を変更する場合は、依頼者は、双方合意の上定めた期日までにセンターに変更部分の技術的審査用提出図書を提出しなければならない旨の規定及びその変更が大幅なものとセンターが認める場合にあっては、依頼者は、当初の依頼内容に係る依頼を取下げ、別に改めて技術的審査を依頼しなければならない旨の規定
- (4) センターは、適合証を交付し、又は適合証を交付できない旨を通知する期日（以下「業務期日」という。）を定める旨の規定
- (5) センターは、依頼者が(1)から(3)までの規定に反した場合には、前号の業務期日を変更することができる旨の規定
- (6) センターは、センターの責めに帰すことのできない事由によって、業務期日までに適合証を交付することができない場合には、依頼者に対してその理由を明示の上、必要と認められる業務期日の延期を請求することができる旨の規定
- (7) 依頼者が、その理由を明示の上、センターに書面をもって業務期日の延期を申し出た場合でその理由が正当であるとセンターが認めるときは、センターは業務期日の延期をすることができる旨の規定
- (8) センターは、依頼者の責めに帰すべき事由により業務期日までに適合証を交付することができないときは、契約を解除することができる旨の規定
- (9) センターは、所管行政庁の求めに応じ、技術的審査の内容について、所管行政庁に説明することができる旨の規定

（技術的審査の依頼の取下げ）

- 第 8 条 依頼者は、前条の適合証の交付前に技術的審査の依頼を取り下げる場合においては、その旨を記載した取り下げ届（別記様式 6 号）をセンターに提出する。
- 2 前項の場合においては、センターは、技術的審査の業務を中止し、技術的審査用提出図書を依頼者に返却する。

（所管行政庁から依頼される技術的審査）

- 第 9 条 所管行政庁から依頼がある場合の技術的審査においては、所管行政庁との契約に基づき行うものとする。

第 2 節 技術的審査の実施方法

（技術的審査の実施方法）

- 第 10 条 センターは、技術的審査の依頼を受理したときは、速やかに、第 20 条に定める審査員に技術的審査を実施させるものとする。
- 2 審査員は次に定める方法により技術的審査を行う。
- (1) 技術的審査用提出図書をもって技術的審査を行う
 - (2) 技術的審査を依頼された建築物エネルギー消費性能向上計画が性能向上計画認定に係る認定基準に適合しているかどうかを確認する。
 - (3) 技術的審査を行うに際し、書類の記載事項に疑義があり、提出された書類のみでは当該建築物が性能向上計画認定に係る認定基準に適合しているかどうかの判断ができないと認めるときは、追加の書類等を求めて審査を行う。
- 3 審査員は、技術的審査上必要があるときは、技術的審査用提出図書に関し依頼者に説明を求めるものとする。

(適合証の交付等)

第 11 条 センターは、審査員の技術的審査の結果、依頼に係る建築物エネルギー消費性能向上計画が性能向上計画認定に係る認定基準に適合すると認めるときは別記様式 2 号（第 6 条による依頼の場合は別記様式 4 号の適合証（変更））を依頼者に交付するものとする。

2 前項の適合証の交付番号は別表 1「適合証交付番号の付番方法」に基づき付番された適合証交付番号を記載するものとする。

3 センターは審査員の技術的審査の結果、依頼に係る建築物エネルギー消費性能向上計画が性能向上計画認定に係る認定基準に適合せず、かつ是正される見込みがないと認めて技術的審査をしないときは、その旨の通知書（別記様式 5 号）を依頼者に交付するものとする。

第 3 章 認定表示に係る技術的審査の業務の実施方法

第 1 節 依頼手続き

(所管行政庁に認定申請する前に行う技術的審査の依頼)

第 12 条 依頼者又は代理者は、センターに対し、次の各号に掲げる図書（以下第 3 章において「技術的審査用提出図書」という。）を正副 2 部提出しなければならないものとする。

- (1) 別記様式 7 号の建築物のエネルギー消費性能に係る技術的審査依頼書（以下第 3 章において「依頼書」という。）
- (2) 規則第 7 条第 1 項で定める認定申請書（様式第五）
- (3) 技術的審査の対象となる建築物の設計図書等（規則第 7 条第 1 項の表に定める図書（設計内容説明書を除く。））その他センターが技術的審査のために必要と認める図書（以下第 3 章において「技術的審査添付図書」という。）

(適合証が交付された後に行う計画の変更に係る技術的審査の依頼)

第 13 条 依頼者は、第 18 条に規定する適合証の交付を受けた建築物のエネルギー消費性能を変更する場合において、センターに変更に係る技術的審査の依頼をすることができる。この場合、依頼者はセンターに対し、次の各号（センターにおいて直前の技術的審査を行っている場合にあつては、(3)を除く。）に掲げる図書を、正副 2 部提出しなければならないものとする。

- (1) 別記様式 9 号の建築物のエネルギー消費性能の変更に係る技術的審査依頼書
- (2) 技術的審査添付図書等のうち変更に係るもの
- (3) 直前の技術的審査の結果が記載された適合証又はその写し

(技術的審査の依頼の受理及び契約)

第 14 条 センターは、第 12 条又は第 13 条の技術的審査の依頼があつたときは、次の事項を確認し、当該技術的審査用提出図書を受理する。

- (1) 技術的審査を依頼された建築物の所在地が、第 4 条の業務を行う区域内であること及び建築物の用途が、審査対象の建築物用途であること。
- (2) 技術的審査用提出図書に形式上の不備がないこと。

- (3) 技術的審査用提出図書に記載すべき事項の記載が不十分でないこと。
- (4) 技術的審査用提出図書に記載された内容に明らかな虚偽がないこと。
- 2 センターは、前項の確認により、技術的審査用提出図書が同項各号のいずれかに該当しないと認める場合においては、その補正を求めるものとする。
- 3 依頼者が前項の求めに応じない場合又は十分な補正を行わない場合においては、センターは、受理できない理由を明らかにするとともに、依頼者に技術的審査用提出図書を返却する。
- 4 センターは、第1項により技術的審査の依頼を受理した場合においては、依頼者に引受承諾書を交付する。この場合、依頼者とセンターは別に定める技術的審査業務約款に基づき契約を締結したものとする。
- 5 前項の技術的審査業務約款又は引受承諾書には、少なくとも次の各号に掲げる事項について明記するものとする。
 - (1) 依頼者は、提出された書類のみでは技術的審査を行うことが困難であるとセンターが認めて請求した場合は、技術的審査を行うのに必要な追加書類を双方合意の上定めた期日までにセンターに提出しなければならない旨の規定
 - (2) 依頼者は、センターが認定表示に係る認定基準への適合に関する是正事項を指摘した場合は、双方合意の上定めた期日までに当該部分の技術的審査用提出図書の修正その他必要な措置をとらなければならない旨の規定
 - (3) 別記様式8号の適合証の交付前までに、依頼者の都合により依頼内容を変更する場合は、依頼者は、双方合意の上定めた期日までにセンターに変更部分の技術的審査用提出図書を提出しなければならない旨の規定及びその変更が大幅なものとセンターが認める場合にあっては、依頼者は、当初の依頼内容に係る依頼を取下げ、別に改めて技術的審査を依頼しなければならない旨の規定
 - (4) センターは、業務期日を定める旨の規定
 - (5) センターは、依頼者が(1)から(3)までの規定に反した場合には、前号の業務期日を変更することができる旨の規定
 - (6) センターは、センターの責めに帰すことのできない事由によって、業務期日までに適合証を交付することができない場合には、依頼者に対してその理由を明示の上、必要と認められる業務期日の延期を請求することができる旨の規定
 - (7) 依頼者が、その理由を明示の上、センターに書面をもって業務期日の延期を申し出た場合でその理由が正当であるとセンターが認めるときは、センターは業務期日の延期をすることができる旨の規定
 - (8) センターは、依頼者の責めに帰すべき事由により業務期日までに適合証を交付することができないときは、契約を解除することができる旨の規定
 - (9) センターは、所管行政庁の求めに応じ、技術的審査の内容について、所管行政庁に説明することができる旨の規定

(技術的審査の依頼の取下げ)

- 第15条 依頼者は、前条の適合証の交付前に技術的審査の依頼を取り下げる場合においては、その旨を記載した取り下げ届（別記様式12号）をセンターに提出する。
- 2 前項の場合においては、センターは、技術的審査の業務を中止し、技術的審査用提出図書を依頼者に返却する。

(所管行政庁から依頼される技術的審査)

第 16 条 所管行政庁から依頼がある場合の技術的審査においては、所管行政庁との契約に基づき行うものとする。

第 2 節 技術的審査の実施方法

(技術的審査の実施方法)

第 17 条 センターは、技術的審査の依頼を受理したときは、速やかに、第 20 条に定める審査員に技術的審査を実施させるものとする。

2 審査員は次に定める方法により技術的審査を行う。

- (1) 技術的審査用提出図書をもって技術的審査を行う
- (2) 技術的審査を依頼された建築物のエネルギー消費性能が認定表示に係る認定基準に適合しているかどうかを確認する。
- (3) 技術的審査を行うに際し、書類の記載事項に疑義があり、提出された書類のみでは当該建築物が認定表示に係る認定基準に適合しているかどうかの判断ができないと認めるときは、追加の書類等を求めて審査を行う。

3 審査員は、技術的審査上必要があるときは、技術的審査用提出図書に関し依頼者に説明を求めるものとする。

(適合証の交付等)

第 18 条 センターは、審査員の技術的審査の結果、依頼に係る建築物のエネルギー消費性能が認定表示に係る認定基準に適合すると認めたときは、別記様式 8 号（第 13 条による依頼の場合は別記様式 10 号の適合証（変更））を依頼者に交付するものとする。

2 前項の適合証の交付番号は別表 2 「適合証交付番号の付番方法」に基づき付番された適合証交付番号を記載するものとする。

3 センターは審査員の技術的審査の結果、依頼に係る建築物のエネルギー消費性能が認定表示に係る認定基準に適合せず、かつ是正される見込みがないと認めて技術的審査をしないときは、その旨の通知書（別記様式 11 号）を依頼者に交付するものとする。

第 4 章 技術的審査料金

(技術的審査料金)

第 19 条 センターは技術的審査の実施に関し別に定める技術的審査料金を徴収することができる。

2 センターは前項の技術的審査料金についての請求、納入等の方法を別に定める。

3 所管行政庁からの依頼による場合の技術的審査料金については、所管行政庁との契約に基づくものとする。

第 5 章 審査員

(審査員)

第 20 条 センターは、次に該当する者（以下「審査員」という。）に技術的審査を行わせるものとする。

- (1) 住宅にあっては、住宅の品質確保の促進等に関する法律（平成 11 年法律第 81 号。以下「住宅品質確保促進法」という。）第 13 条に定める評価員（センターの職員以外に委嘱する評価員を含む。）で、共同住宅共用部における一次エネルギー消費量の算

出についての知識を有するもの、かつ、一般社団法人住宅性能評価・表示協会（以下「協会」という。）が実施する技術的審査に関する研修を受講し、協会に登録された者。

(2) 非住宅にあつては、法第 45 条に規定する適合性判定員で、かつ、協会が実施する技術的審査に関する研修を受講し、協会に登録された者。

(3) 住宅及び非住宅を含む複合建築物にあつては、住宅については第 1 項 (1) の審査員が行い、非住宅部分にあつては第 1 項 (2) の審査員が行う。

2 第 1 項 (1) に定める審査員の技術的審査を行う住宅の範囲は、住宅品質確保促進法別表中各欄に掲げる要件に応じ、同表上欄に掲げる住宅の区分とする。

(秘密保持義務)

第 21 条 センターの役員及びその職員（審査員を含む。以下同じ。）並びにこれらの者であった者は、技術的審査の業務に関して知り得た秘密を漏らし、又は自己の利益のために使用してはならない。

第 6 章 技術的審査の業務に関する公正及び適正性の確保

(技術的審査の業務に関する公正の確保)

第 22 条 センターは、センターの役員又はその職員が、技術的審査の依頼を自ら行った場合又は代理人として技術的審査の依頼を行った場合は、当該建築物に係る技術的審査を行わないものとする。

2 センターは、センターの役員又はその職員が、技術的審査の依頼に係る建築物について次のいずれかに掲げる業務を行った場合は、当該建築物に係る技術的審査を行わないものとする。

(1) 設計に関する業務

(2) 販売又は販売の代理若しくは媒介に関する業務

(3) 建設工事に関する業務

(4) 工事監理に関する業務

3 センターは、センターの役員又は職員（過去 2 年間に役員又は職員であった者を含む。）のいずれかがセンターの役員又は職員である者の行為が、次のいずれかに該当する場合（当該役員又は職員が当該依頼に係る技術的審査の業務を行う場合に限る。）は、当該依頼に係る技術的審査を行わないものとする。

(1) 技術的審査の依頼を自ら行った場合又は代理人として技術的審査の依頼を行った場合

(2) 技術的審査の依頼に係る建築物について、前項の(1) から(4)までのいずれかに掲げる業務を行った場合

4 審査ミスや不正審査を抑制するために、協会の行う監査を受けるものとする。

第 7 章 雑 則

(帳簿の作成及び保存方法)

第 23 条 センターは、次の(1) から(8)までに掲げる事項を記載した建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 30 条に基づく認定に係る技術的審査業務管理帳簿（以下帳簿という。）を作成し事務所に備え付け、施錠のできる室又はロッカー等において、

個人情報及び秘密情報が漏れることがなく、かつ、技術的審査業務以外の目的で複製、利用等がされない確実な方法で保存するものとする。

- (1) 依頼者の氏名又は名称及び住所又は主たる事務所の所在地
- (2) 技術的審査業務の対象となる建築物の名称
- (3) 技術的審査業務の対象となる建築物の所在地
- (4) 技術的審査の依頼を受けた年月日
- (5) 技術的審査を行った審査員の氏名
- (6) 技術的審査料金の金額
- (7) 第 11 条第 1 項の適合証の交付番号
- (8) 第 11 条第 1 項の適合証の交付を行った年月日又は第 11 条第 3 項の通知書の交付を行った年月日

2 前 2 項の保存は、帳簿を電子計算機に備えられたファイル又は磁気ディスクに記録し、当該記録を必要に応じ電子計算機その他の機械を用いて明確に表示されるときは、当該ファイル又は磁気ディスクを保存する方法にて行うことができる。

第 23 条の 2 センターは、次の(1) から(8)までに掲げる事項を記載した建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 36 条に係る技術的審査業務管理帳簿（以下「認帳簿」という）を作成し事務所に備え付け、施錠のできる室又はロッカー等において、個人情報及び秘密情報が漏れることがなく、かつ、技術的審査業務以外の目的で複製、利用等がされない確実な方法で保存するものとする。

- (1) 依頼者の氏名又は名称及び住所又は主たる事務所の所在地
- (2) 技術的審査業務の対象となる建築物の名称
- (3) 技術的審査業務の対象となる建築物の所在地
- (4) 技術的審査の依頼を受けた年月日
- (5) 技術的審査を行った審査員の氏名
- (6) 技術的審査料金の金額
- (7) 第 18 条第 1 項の適合証の交付番号
- (8) 第 18 条第 1 項の適合証の交付を行った年月日又は第 18 条第 3 項の通知書の交付を行った年月日

2 前 2 項の保存は、帳簿を電子計算機に備えられたファイル又は磁気ディスクに記録し、当該記録を必要に応じ電子計算機その他の機械を用いて明確に表示されるときは、当該ファイル又は磁気ディスクを保存する方法にて行うことができる。

（帳簿及び書類の保存期間）

第 24 条 帳簿及び書類の保存期間は、次の各号に掲げる文書の区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 第 23 条第 1 項の帳簿及び第 23 条の 2 第 1 項の帳簿 技術的審査の業務を廃止するまで
- (2) 第 5 条第 1 項及び第 12 条第 1 項の技術的審査用提出図書（所管行政庁との契約により保存不要な場合を除く。）及び第 11 条第 1 項及び第 18 条第 1 項の適合証の写し適合証の交付を行った日の属する年度から 5 事業年度
- (3) センターが建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 30 条又は第 36 条に係る審査業務の全部を廃止した場合において、廃止した業務を継承する機関がある場合は、当該機関に帳簿及び書類の保管を引き継ぐものとする。

(帳簿及び書類の保存及び管理方法)

第 25 条 前条第 1 項各号に掲げる文書の保存は、技術的審査中にある場合は技術的審査のため特に必要である場合を除き事務所内において、技術的審査終了後は施錠できる室、ロッカー等において、确实かつ秘密の漏れることのない方法で行う。

2 前項の保存は、前条第 1 項(1)に規定する帳簿への記載事項及び(2)に規定する書類が、電子計算機に備えられたファイル又は磁気ディスク等に記録され、必要に応じ電子計算機その他の機器を用いて明確に紙面に表示されるときは、当該ファイル又は磁気ディスク等の保存にて行うことができる。

(事前相談)

第 26 条 依頼者は、技術的審査の依頼に先立ち、センターに相談することができる。この場合において、センターは、誠実かつ公正に対応するものとする。

(電子情報処理組織に係る情報の保護)

第 27 条 センターは、電子情報処理組織による建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 30 条又は第 36 条に基づく認定に係る依頼の受付及び図書の交付を行う場合にあっては、情報の保護に係る措置について別に定めることとする。

(国土交通省等への報告等)

第 28 条 センターは、公正な業務を実施するために国土交通省等から技術的審査の業務に関する報告等を求められた場合には、審査内容、判断根拠その他の情報について報告等を行うこととする。

(附則) この技術的審査業務規程は、平成 28 年 8 月 1 日より施行する。

(附則) この技術的審査業務規程は、平成 29 年 4 月 1 日より施行する。

別表1 「適合証交付番号の付番方法」

交付番号は、17桁の文字を用い、次のとおり表すものとする。

『○○○-○-○○-○○○○-○-○-○○○○○』

- | | |
|---------|---|
| 1～3桁目 | 登録住宅性能評価機関番号（国土交通省登録番号とは異なる）又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関番号（国土交通省登録番号） |
| 4桁目 | 1：登録住宅性能評価機関のみの業務を実施
2：登録建築物エネルギー消費性能判定機関のみの業務を実施
3：登録住宅性能評価機関及び登録建築物エネルギー消費性能判定機関の業務を実施 |
| 5～6桁目 | 登録住宅性能評価機関又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関の事務所毎に付する番号 |
| 7～10桁目 | 適合証交付日の西暦 |
| 11桁目 | 1：新築
2：増築、改築、修繕、模様替
3：空気調和設備等の設置
4：空気調和設備等の改修 |
| 12桁目 | 1：一戸建ての住宅
2：共同住宅等での建築物申請
3：共同住宅等での住戸申請
4：住宅と非住宅の複合建築物での建築物申請
5：住宅と非住宅の複合建築物での住戸申請
6：単独用途の非住宅
7：複数用途の非住宅 |
| 13～17桁目 | 通し番号（12桁目までの数字の並びの別に応じ、00001から順に付するものとする。） |

※住戸と非住宅の複合用途での建築物申請の場合、1～3桁目の付番は登録建築物エネルギー消費性能判定機関番号とし、5～6桁目の付番は、当該機関の事務所毎に付する番号とする。

別表2 「適合証交付番号の付番方法」

交付番号は、16桁の数字を用い、次のとおり表すものとする。

『○○○-○-○○-○○○○-○-○○○○』

- | | |
|---------|--|
| 1～3桁目 | 登録住宅性能評価機関番号（国土交通省登録番号とは異なる）又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関番号（国土交通省登録番号） |
| 4桁目 | 1：登録住宅性能評価機関のみの業務を実施
2：登録建築物エネルギー消費性能判定機関のみの業務を実施
3：登録住宅性能評価機関及び登録建築物エネルギー消費性能判定機関の業務を実施 |
| 5～6桁目 | 登録住宅性能評価機関又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関の事務所毎に付する番号 |
| 7～10桁目 | 適合証交付日の西暦 |
| 11桁目 | 1：一戸建ての住宅
2：共同住宅等での建築物申請
3：住戸と非住宅の複合用途での建築物申請
4：非住宅建築物 |
| 12～16桁目 | 通し番号（11桁目までの数字の並びの別に応じ、00001から順に付するものとする。） |

※住戸と非住宅の複合用途での建築物申請の場合、1～3桁目の付番は登録建築物エネルギー消費性能判定機関番号とし、5～6桁目の付番は、当該機関の事務所毎に付する番号とする。

【別記様式】

別記様式 1 号「建築物エネルギー消費性能向上計画に係る技術的審査依頼書」

別記様式 2 号「建築物エネルギー消費性能向上計画に係る技術的審査 適合証」

別記様式 3 号

「建築物エネルギー消費性能向上計画の変更に係る技術的審査依頼書」

別記様式 4 号

「建築物エネルギー消費性能向上計画に係る技術的審査 適合証（変更）」

別記様式 5 号

「建築物エネルギー消費性能向上計画に係る技術的審査に適合しない旨の通知書」

別記様式 6 号

「建築物エネルギー消費性能向上計画に係る技術的審査 取り下げ届」

別記様式 7 号「建築物のエネルギー消費性能に係る技術的審査依頼書」

別記様式 8 号「建築物のエネルギー消費性能に係る技術的審査 適合証」

別記様式 9 号

「建築物のエネルギー消費性能の変更に係る技術的審査依頼書」

別記様式 10 号

「建築物のエネルギー消費性能に係る技術的審査 適合証（変更）」

別記様式 11 号

「建築物のエネルギー消費性能に係る技術的審査に適合しない旨の通知書」

別記様式 12 号

「建築物のエネルギー消費性能に係る技術的審査 取り下げ届」

建築物エネルギー消費性能向上計画に係る技術的審査依頼書

年 月 日

長野県建築住宅センター
理事長 様依頼者の住所又は
主たる事務所の所在地
依頼者の氏名又は名称 印代理者の住所又は
主たる事務所の所在地
代理者の氏名又は名称 印

技術的審査業務規程に基づき、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第30条第1項に定める性能向上計画認定に係る認定基準への適合性について、下記の建築物の技術的審査を依頼します。この依頼書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

【技術的審査を依頼する認定基準】

- 法第30条第1項第1号関係
 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項
 一次エネルギー消費量に関する事項
 法第30条第1項第2号関係（基本方針）
 法第30条第1項第3号関係（資金計画）

【建築物の位置】

【建築物の名称】

- 【建築物の用途】 一戸建ての住宅 非住宅建築物
 共同住宅等 複合建築物

【建築物の工事種別】 新築 増築 改築 修繕又は模様替 空気調和設備等の設置 空気調和設備等の改修【申請の対象とする範囲】 建築物全体 建築物の一部（住戸の部分） 建築物の一部（非住宅部分）

【認定申請先の所管行政庁名】

【認定申請予定日】

※受付欄	※料金欄
年 月 日	
第 号	
依頼受理者印	

(注意)

- 依頼者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
- 依頼者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- 代理者が存しない場合については、代理者の部分は空欄としてください。
- 申請の別において一部の住戸の認定とする場合は、別紙に住戸番号を記載してください。

建築物エネルギー消費性能向上計画に係る技術的審査
適合証

依頼者の氏名又は名称 殿

長野県建築住宅センター
理事長 印

技術的審査業務規程に基づき、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第30条第1項の認定基準のうち、以下に掲げる基準に適合していることを証します。

記

1. 建築物の位置
2. 建築物の名称
3. 建築物の用途 一戸建ての住宅 非住宅建築物
 共同住宅等 複合建築物
4. 建築物の工事種別 新築 増築 改築
 修繕又は模様替
 空気調和設備等の設置 空気調和設備等の改修
5. 申請の対象とする範囲 建築物全体 建築物の一部（住戸の部分）
 建築物の一部（非住宅部分）
6. 認定申請先の所管行政庁名
7. 技術的審査を依頼する認定基準
 法第30条第1項第1号関係
 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項
 一次エネルギー消費量に関する事項
 法第30条第1項第2号関係（基本方針）
 法第30条第1項第3号関係（資金計画）

技術的審査依頼年月日	年 月 日
認定申請予定日	年 月 日
適合証交付年月日	年 月 日
適合証交付番号	〇〇〇-〇-〇〇-〇〇〇〇-〇-〇-〇〇〇〇〇
審査員氏名	

建築物エネルギー消費性能向上計画の変更に係る技術的審査依頼書

年 月 日

長野県建築住宅センター
理事長 様依頼者の住所又は
主たる事務所の所在地
依頼者の氏名又は名称 印代理者の住所又は
主たる事務所の所在地
代理者の氏名又は名称 印

下記の建築物について、技術的審査業務規程第6条に基づき、変更の技術的審査を依頼します。この依頼書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

【技術的審査を依頼する認定基準】

- 法第30条第1項第1号関係
 外壁、窓等を通じた熱の損失の防止に関する事項
 一次エネルギー消費量に関する事項
 法第30条第1項第2号関係（基本方針）
 法第30条第1項第3号関係（資金計画）

【計画を変更する建築物の適合証】

- 適合証交付番号 第 号
- 適合証交付年月日
- 適合証を交付した者
- 変更の概要
- 変更の対象となる認定申請書の申請日

※受付欄	※料金欄
年 月 日	
第 号	
依頼受理者印	

(注意)

- 依頼者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
- 依頼者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- 代理者が存しない場合については、代理者の部分は空欄としてください。

建築物エネルギー消費性能向上計画に係る技術的審査
適合証（変更）

依頼者の氏名又は名称 殿

長野県建築住宅センター
理事長 印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 30 条に基づく認定に係る技術的審査業務規程に基づき、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 30 条第 1 項の性能向上認定に係る認定基準等に適合していることを証します。

記

1. 建築物の位置
2. 建築物の名称
3. 建築物の用途 一戸建ての住宅 非住宅建築物
共同住宅等 複合建築物
4. 建築物の工事種別 新築 増築 改築
修繕又は模様替
空気調和設備等の設置 空気調和設備等の改修
5. 申請の対象とする範囲 住戸のみ 建築物全体
非住宅のみ 建築物全体と住戸の両方
6. 認定申請先の所管行政庁名
7. 技術的審査を依頼する認定基準
法第 30 条第 1 項第 1 号関係
外壁、窓等を通じた熱の損失の防止に関する事項
一次エネルギー消費量に関する事項
法第 30 条第 1 項第 2 号関係（基本方針）
法第 30 条第 1 項第 3 号関係（資金計画）

技術的審査依頼年月日	年 月 日
認定申請日	年 月 日
適合証交付年月日	年 月 日
適合証交付番号	〇〇〇-〇-〇〇-〇〇〇〇-〇-〇-〇〇〇〇〇
審査員氏名	

建築物エネルギー消費性能向上計画に係る技術的審査に適合しない旨の通知書

第 号
年 月 日

依頼者の氏名又は名称 殿

長野県建築住宅センター
理事長 印

別添の建築物エネルギー消費性能向上計画に係る技術的審査依頼書及びその添付図書に記載の建築物については、下記の理由により適合証を交付できませんので、技術的審査業務規程第 11 条第 3 項に基づき、通知書を交付します。

(理由)

建築物エネルギー消費性能向上計画に係る技術的審査
取り下げ届

年 月 日

長野県建築住宅センター
理事長 様

依頼者の住所又は
主たる事務所の所在地
依頼者の氏名又は名称 印

○月○日に依頼した建築物エネルギー消費性能向上計画に係る技術的審査依頼につきまして、下記により技術的審査業務規程第 8 条第 1 項に基づき、依頼を取り下げます。

記

1. 依頼書提出日 : 年 月 日

2. 受付番号 :

3. 建築物の位置 :

建築物のエネルギー消費性能に係る技術的審査依頼書

年 月 日

長野県建築住宅センター
理事長 様依頼者の住所又は
主たる事務所の所在地
依頼者の氏名又は名称 印代理者の住所又は
主たる事務所の所在地
代理者の氏名又は名称 印

技術的審査業務規程に基づき、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 36 条第 1 項に定める認定表示に係る認定基準への適合性について、下記の建築物の技術的審査を依頼します。この依頼書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

【技術的審査を依頼する認定基準】

 法第 36 条関係 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項 一次エネルギー消費量に関する事項

【建築物の位置】

【建築物の名称】

【建築物の用途】 一戸建ての住宅 非住宅建築物 共同住宅等 複合建築物

【認定申請先の所管行政庁名】

【認定申請予定日】

※受付欄	※料金欄
年 月 日	
第 号	
依頼受理者印	

(注意)

1. 依頼者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 依頼者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
3. 代理者が存しない場合については、代理者の部分は空欄としてください。
4. 申請の別において一部の住戸の認定とする場合は、別紙に住戸番号を記載してください。

建築物のエネルギー消費性能に係る技術的審査

適合証

依頼者の氏名又は名称 殿

長野県建築住宅センター
理事長 印

技術的審査業務規程に基づき、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 36 条第 1 項の認定表示に係る認定基準に適合していることを証します。

記

1. 建築物の位置
2. 建築物の名称
3. 建築物の用途 一戸建ての住宅 非住宅建築物
共同住宅等 複合建築物
4. 認定申請先の所管行政庁名
5. 技術的審査を依頼する認定基準
法第 36 条関係
外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項
一次エネルギー消費量に関する事項

技術的審査依頼年月日	年 月 日
認定申請予定日	年 月 日
適合証交付年月日	年 月 日
適合証交付番号	〇〇〇-〇-〇〇-〇〇〇〇-〇-〇〇〇〇〇
審査員氏名	

建築物のエネルギー消費性能の変更に係る技術的審査依頼書

年 月 日

長野県建築住宅センター
理事長

様

依頼者の住所又は
主たる事務所の所在地
依頼者の氏名又は名称 印代理者の住所又は
主たる事務所の所在地
代理者の氏名又は名称 印

下記の建築物について、技術的審査業務規程第 13 条に基づき、変更の技術的審査を依頼します。この依頼書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

【計画を変更する建築物の適合証】

1. 適合証交付番号 第 号
2. 適合証交付年月日
3. 適合証を交付した者
4. 変更の概要
5. 変更の対象となる認定申請書の申請日

※受付欄	※料金欄
年 月 日	
第 号	
依頼受理者印	

(注意)

1. 依頼者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 依頼者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
3. 代理者が存しない場合については、代理者の部分は空欄としてください。

建築物のエネルギー消費性能に係る技術的審査
適合証（変更）

依頼者の氏名又は名称 殿

長野県建築住宅センター
理事長 印

技術的審査業務規程に基づき、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第36条第2項の認定表示に係る認定基準に適合していることを証します。

記

1. 建築物の位置
2. 建築物の名称
3. 建築物の用途 一戸建ての住宅 非住宅建築物
共同住宅等 複合建築物
4. 認定申請先の所管行政庁名
5. 技術的審査を依頼する認定基準
法第36条関係
外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項
一次エネルギー消費量に関する事項

技術的審査依頼年月日	年 月 日
認定申請日	年 月 日
適合証交付年月日	年 月 日
適合証交付番号	〇〇〇-〇-〇〇-〇〇〇〇-〇-〇〇〇〇〇
審査員氏名	

建築物のエネルギー消費性能に係る技術的審査に適合しない旨の通知書

第 号
年 月 日

依頼者の氏名又は名称 殿

長野県建築住宅センター
理事長 印

別添の建築物エネルギー消費性能に係る技術的審査依頼書及びその添付図書に記載の建築物については、下記の理由により適合証を交付できませんので、技術的審査業務規程第 18 条第 3 項に基づき、通知書を交付します。

(理由)

建築物のエネルギー消費性能に係る技術的審査
取り下げ届

年 月 日

長野県建築住宅センター
理事長 様

依頼者の住所又は
主たる事務所の所在地
依頼者の氏名又は名称 印

○月○日に依頼した建築物のエネルギー消費性能に係る技術的審査依頼につきまして、
下記により技術的審査業務規程第 15 条第 1 項に基づき、依頼を取り下げます。

記

1. 依頼書提出日 : 年 月 日
2. 受付番号 :
3. 建築物の位置